

札幌市特別支援学級「チャレンジ・フットサル」活動記録

学校名 札幌市立 栄小学校 記録者 井上

期 日 2022年10月6日

児童生徒数19名

エスポラーダ北海道の指導・支援者名 トップチーム監督 金井 一哉さん

活動概要

<準備運動>

- ・ボールを持ち、その場で投げ上げてキャッチする。
- ・ボールを持ち、その場で投げ上げて、ジャンプしてキャッチする。

<練習>

- ・ドリブルをしながら、体育館の中を自由に動き回る。
- ・ドリブルをしながら、体育館の中を自由に動き回り、笛が鳴ったら、足裏でボールを止めてストップ（ポーズを取る）。
- ・体育館の色線に沿ってドリブルをしながら、体育館の中を自由に動き回り、笛が鳴ったら、足裏でボールを止めてストップ（ポーズを取る）。
- ・水飲み休憩
- ・体育館後方からドリブルをし、前方にある二つのゴールのどちらかにシュートをする（1～3年、4～6年に分かれて行う）。
※制限時間10秒から始め、徐々に秒数を減らしてチャレンジさせる。
- ・1～3年、4～6年でそれぞれ紅白チームを作ってゲームをする。
交互に、計2回ずつのゲーム。

活動結果(記録者のご意見、児童生徒の感想等)

- ・子どもたちの心も体も解放していただき、運動特性に浸ることができました。金井さんの盛り上げ方が、子どもたちにとってもマッチしていたように感じました。もともと、体育が好きになってきた子たちが多くいますが、日常とは違った新鮮みのある活動に触れ、さらに運動が好きになったり、運動が苦手な子でも楽しさを覚えたりと、とても刺激多い時間を過ごさせていただきました。子どもたちからも、「楽しかった。」「またやりたい。」「また来て欲しい。」「いつ、また来るの?」との声が聞かれました。ぜひまた、何かの機会に参加させていただきたいです。お忙しい中、サインにもお付き合いいただきありがとうございました。みんな大事にしています。

活動写真(主催者法人のホームページに掲載します)



2022 年度実施 10 校目 / 20 校 10 万円 / 20 万円